

飛驒高山高生は今！ 第5号 2021.9・10月

岐阜県立飛驒高山高等学校 学校だより

岡本キャンパス（全日制）

文化祭

10月26、27日に文化祭が開催されました。今年度のテーマが「AMUSE」と決まり、文化祭実行委員会を中心に「みんなを楽しませよう！」という意気込みで、運営しました。3年生は演劇発表、1、2年生は作品を展示発表しました。また、多くの文化系の部活動もコンサートや展示を行いました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、9月末ようやく学校再開となり、短い準備期間の中で、生徒たちは、最大限のパフォーマンスを発揮していました。感染対策を徹底しながらの開催となり、新しい形の文化祭となりました。

文化祭実行委員長 林 乙嘉 【松倉中出身】

コロナ禍の中で、感染対策をとりながらの文化祭運営は、苦勞しました。1、2年生は、従来の文化祭を経験していないので、少しでも楽しめる文化祭を作りたいという思いでやりました。3年生も楽しむことができ、無事に終わることができてよかったです。



岡本キャンパス（定時制）

文化祭「千紫万紅」

9月27日から全学年揃って登校再開となり、10月26日の文化祭に向けて、各クラスで準備が始まりました。コロナ禍で文化祭を行うということで、「どのような感染対策をするか」「作品にどのような思いや願いを込めるのか」をよく考え、クラスで協力して作品を作ります。文化祭のテーマである「千紫万紅」にあるような、各クラスの個性や工夫が咲き乱れる文化祭になることを期待しています。



山田キャンパス（全日制）

文化祭

今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、生徒が育てた農産物を地域の方々に販売する「ひのう祭」を中止し、校内発表のみの文化祭として、10月26・27日に開催されました。テーマは「農業に光を～私たちの笑顔をそえて～」とし、1年生はステンドグラス、2年生は3D壁画、3年生は3D壁画と学科紹介動画を作成し発表しました。多くの文化系部活動の発表、地元企業へ就職した卒業生のメッセージ動画、山田キャンパス創立100周年を人文字で表現する全校統一企画、ICTを活用したFormsでの投票など、文化委員や生徒会を中心に、いろいろな場面で新しい試みを取り入れた文化祭となりました。



岡本キャンパス（通信制）

通信制では、9月より感染症対策を徹底しながらスクーリングを再開しました。このような状況の中でも生徒のみなさんは、動揺することなく、また緊張感を緩めることなく、粛々とスクーリングに臨んでいます。



9月19日（日）のスクーリングでは、2年ぶりに開催される文化祭の出し物について各クラスで話し合いが行われました。各クラスの出し物のタイトルは、1年生「秋祭り」2年生「岐阜城に昇る月」3年生「傘アート」4年生「撮影型モザイクアート」です。昨年は中止されたため2年ぶりの文化祭です。

どのような文化祭となるのか今から楽しみです。

